

曾於市公式ホームページ
リニューアル基本方針（案）

曾於市
令和8年4月

目次

1	リニューアルの背景・目的	3
2	現状と課題	3
3	基本方針	5
4	主なリニューアル内容	5
5	運用体制	7
6	リニューアルスケジュール	9

1 リニューアルの背景・目的

曾於市公式ホームページ（以下「市ホームページ」という）は、平成17年7月1日に開設され、その後平成26年4月にリニューアルを行いました。しかしリニューアルから10年以上が経過し、高度化・多様化する閲覧者のニーズやアクセシビリティへの対応が求められるなか、管理運営が困難な状況となっています。

また、「情報が点在し、必要な情報にたどり着けない」「古い情報がいつまでも掲載されている」などのさまざまな課題があり、サイト構成やシステム的な問題への対応も求められています。そのため、新たなCMS（ホームページを編集するシステム）を導入するとともにコンテンツの充実を図り、ホームページの全面的なリニューアルを行います。

さらに、普及するスマートフォンによる閲覧への対応をはじめ、加速化する自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）化に沿ったデジタルコンテンツの充実も急務となっています。

ついては、これらの課題を解決し、市民にとって分かりやすく使いやすい市ホームページとするため、リニューアルを行います。

2 現状と課題

（1）市ホームページの現状

- ・現在の市ホームページ公開日：平成26年4月1日
- ・ページ数：約2,700ページ（令和8年2月）
- ・年間アクセス数：約603,000件（令和6年度）
- ・スマートフォン閲覧割合：65.7%（令和6年度）

（2）主な課題

①情報が探しにくい

現在の市ホームページはメニュー構造が複雑で、目的のページにたどり着く経路が複数あります。またリンク設定やナビゲーションなどが適切に管理されておらず「情報が点在し、必要な情報にたどり着けない」「古い情報がいつまでも掲載されている」状況にあります。

②多様な端末での閲覧に対応していない

市ホームページは6割以上の方がスマートフォンで閲覧されています。しかし現在の市ホームページをスマートフォンで閲覧すると、パソコン版の画面が表示されてしまい閲覧しにくい状況です。

③情報検索の利便性が低い

現在の市ホームページには、サイト内検索機能を有していますが、検索結果が多すぎたり、意図しないものが表示され、閲覧者が自己解決しにくいものとなっています。

④子ども・高齢者・障がい者・外国人が理解しにくい

行政情報は専門用語や難しい漢字が多く理解が難しい場合があります。誰もが理解しやすくするための機能が現在の市ホームページにはありません。

⑤災害時対応の不足

災害時に情報を発信する機能に不足があり、なかでも迅速な情報掲載やアクセス集中への対応が不足しています。市役所からの確かな情報を迅速かつ的確に伝えるためにも災害時への対応が必要です。

⑥SNS連携の不足

現在の市ホームページではSNSとの連携が限定的で、連携できていないSNSがあります。SNS連携を拡充することで情報発信力を高めることができます。

⑦更新の負担

現行の編集システムでは操作に慣れていない職員にとっては、操作方法が分かりにくく、作業に時間がかかるものとなっており、作業効率が低下しています。

3 基本方針

現在の市ホームページの課題を解決するための基本方針は次のとおりです。

- 基本方針1 情報を探しやすいサイト構成
- 基本方針2 多様な端末での閲覧に対応
- 基本方針3 AI チャットボットの導入
- 基本方針4 やさしい日本語・ふりがなの追加機能の導入
- 基本方針5 災害時対応の強化
- 基本方針6 SNS 連携の強化
- 基本方針7 情報更新の効率化

4 主なりリニューアル内容

基本方針1 情報を探しやすいサイト構成

閲覧者にとっての使いやすさを最優先し、メニュー体系を刷新します。カテゴリを見ただけでコンテンツの内容が想像できるカテゴリ分類となるよう設計し、目的の情報へ即座にたどり着くためのサイト構成・デザインを構築します。

また、リンク切れ対応、知らせたい情報への誘導効果など、サイト品質の維持・向上を図ります。

さらに、曾於市のブランドイメージの向上、セールス力の向上につながるようなデザイン、機能、サイト設計を構築します。

基本方針2 多様な端末での閲覧に対応

パソコン版及び、スマートフォン版のサイト設計を行い、パソコン・スマートフォン・タブレットなど多様な端末での閲覧に対応したホームページを構築します。

なお、スマートフォン版サイトは操作性、視認性が確保できる設計を行い、原則としてレスポンシブウェブデザイン(画面サイズに合わせてレイアウトを自動的に切り替えるデザイン)を採用します。

基本方針3 AIチャットボットの導入

ホームページ上の情報を学習し、利用者の質問に自動回答するAIチャットボットを導入します。AIチャットボットによる24時間365日の自動対応で、閲覧者の自己解決促進や満足度向上を図ります。同時に電話や窓口への問い合わせの負担軽減が期待できます。

基本方針4 やさしい日本語・ふりがなの追加機能の導入

子ども・高齢者・障がい者・外国人など誰もが利用しやすいホームページとするため、やさしい日本語・ふりがなの追加機能を導入します。

また、ユーザビリティやアクセシビリティに配慮したコンテンツ作成を強化します。

基本方針5 災害時対応の強化

災害情報を的確にいち早く掲載できる機能を強化します。Jアラートなどの情報を「自動連携」によりウェブサイト上に掲載する機能や、災害時のアクセス集中に対応する、災害専用トップページ（テキストのみで軽量化したサイト）を構築します。

基本方針6 SNS連携の強化

ホームページと連携するSNSを増やすことで情報発信力を高めます。また、SNSからホームページへの誘導を促進し、市民への周知効果を高めます。SNS連携を強化することで、これまで行政情報が届きにくかった世代など、より多くの人に情報を届けます。

基本方針7 情報更新の効率化

記事ページの作成・編集についての専門知識、技術を持たない市職員でも容易に編集可能なシステムの導入と運用ガイドラインの整備を行い、行政情報の迅速な発信とホームページ運用の効率化を図ります

5 運用体制

ホームページは、全庁的な体制で運用します。

(1) 組織・役割分担について

①市ホームページの担当課（総務課秘書広係）

役割 ホームページ全体の管理、各課が作成するコンテンツのチェック、アセシビリティの定期診断、FAQ（よくある質問）の整理

②各業務の担当課

役割 行政情報の迅速な公開・更新

③ホームページ保守運用業務委託業者

役割 システム運用支援、コンテンツ作成支援、システムの安定稼働、セキュリティ対策

(2) 運用ガイドラインの整備

編集ルールを明確化し誰が編集しても統一した表記となるように「共通ルール」を作成します。

①記事作成ルールの統一

- ・画像の代替テキスト

画像には必ず内容を説明するテキストを付与する。

- ・算用数字の統一

日付や個数は半角を使用する。

- ・色のコントラスト

背景色と文字色のコントラストを十分に確保する。

- ・リンク表現の明確化

リンクテキストは「〇〇ページはこちら」またはリンク先の「ページタイトル」とする。

- ・掲載期限の設定

掲載時に公開終了日を設定し、自動的に非表示になるようにする。

②更新フロー

編集システム上で下記のワークフローを経てページを公開します。

担当者作成 ⇒ 担当課長承認 ⇒ 公開

(3) 職員研修の実施

市職員がホームページへの理解を深めるとともに編集システムへの習熟を深める研修会を行います。

対象	主な内容
作成者（担当者）	<ul style="list-style-type: none">・ システムの説明・ ページ作成方法・ ページ作成から公開までの流れ・ アクセシビリティの基礎知識やガイドラインの説明・ 個別操作研修 など
承認者（担当課長）	<ul style="list-style-type: none">・ システムの説明・ ページ作成から公開までの流れ・ ページの承認方法・ アクセシビリティの基礎知識やガイドラインの説明・ 個別操作研修 など
管理者（総務課秘書広報係）	<ul style="list-style-type: none">・ システムの説明・ 各種管理機能の説明・ テンプレートの修正方法・ 個別操作研修 など

6 リニューアルスケジュール

日程	内容
令和8年4月3日～5月1日	パブリックコメントの募集
令和8年5月	広報内容検討委員会
令和8年5月～7月	公募型プロポーザル方式による 委託業者の特定
令和8年8月～令和9年2月	新ホームページの設計・構築
令和9年3月1日	新ホームページ公開